



青木 正彦 議員

問 ショッピングひまわり撤退後の対策は 答 かわりの店舗の確保を強く 要望していく

問 ショッピングひまわりの撤退と事後の対策についてお尋ねします。この問題は、五霞町で人が安心して住み続けられる生活圏を確保するうえで、差しせまつた解決が求められています。

問 後の対策として、後継の店舗を探すよう要請し続けますが、町内事業者の入居の可能性を探るとともに、宅配サービスや交通手段の提供等についても検討したいと考えています。

問 原宿台の住宅街は、昭和62年、住宅・都市整備公団の宅地分譲により開発されました。公募の公団パンフレットは「地区中心部にセンター用地を確保し、スーパーをはじめ専門店、各種商店、飲食店、診療所などが計

画されている」と謳っていました。当時の公団の開発事業は都市再生機構（UR）に受け継がれているわけですから、約束を無視されては困るわけです。住民説明会を開くとか、誠意をつくした対応が強く求められます。

町長 テナント料が高すぎるという話ですから、このことも含め新都市ライフと話を詰めていきたいと思っています。また住民への説明についてもオーナー会社に強く要望したいと考えます。

があると考えます。

町長 先日、ひまわりの建物所有者である新都市ライフが来庁し、ひまわりとの賃貸契約は本年10月で満了し、その後の更新は行われない、後継業者の決定は大変厳しい状況にあるとの説明でした。町としても、かわりの業者を探すよう強く要望しています。町内の関係機関とも相談し検討していきたく考えています。

企画財政課長 ひまわりの土地所有者は独立行政法人都市再生機構、建物の所有は株式会社新都市ライフです。ひまわり撤退の理由としては、最盛期7億円ほどだった売上げが、近年4億円台に落ち込んできており、原因として、近隣に大型ショッピングセンターが出来たことが考えられます。なお、ひまわりのテナント料は月130万9千円と聞いています。

問 不審火発生の経過は。 駐在所適正配置の要望を 答 一連の事案は捜査継続中である

問 4月中旬から、原宿台地域で不審火等が連続して起きました。関係機関の対応で、その後は鎮静化していますが、この事態の経過及び捜査の結果についてお尋ねします。

総務課長 2月から3月にかけて計4回、地域安全センターの出入り口のガラスが割られるという事案が起きました。不審火等発生の経過は、4月21日、辰堂公園内立ち木の根元及び、民家のインターホンに焦げ跡があることを境警察が確認。さらに午後10時半ごろ辰堂

公園の立木が燃えているとの通報があり、消防署が出動し消火しました。翌22日、現場検証の結果、公園内立木4本、植込み一ヶ所が灯油による不審火であることを確認しました。4月25日早朝、自家用車1台の火災が発生しました。そのほか、消火器10本が5ヶ所に散布されています。

同日、緊急関係機関対策会議を招集、消防団による巡回活動、境警察署による警ら活動の強化等について合意、実施しました。これら一連の事案

問 その後は鎮静化していますが、捜査中ということですが、捜査をみていないので決着をみていないのではありません。当町では、元栗橋と小福田の2ヶ所に駐在所が置かれています。この体制は何十年間も変わりません。この間に原宿台住宅街ができるなど地域事情の変化があるわけですから駐在所配置の見直しについて、住民と自治体の要望、意見が適格に反映される必要

問 町史「五霞の生活史」刊行の意義と町民に広く普及する取り組みについて（略）

その他の質問

町史「五霞の生活史」刊行の意義と町民に広く普及する取り組みについて（略）